

とんぐい村の こみ・すく通信

令和元年 6 月 25 日発行 第 3 号
更別村コミュニティ・スクール委員会

みんなの学校応援団 の活動を紹介〈その2〉

「更別農業高校の存在」

『こみ・すく通信』を出すのなら、ぜひ紹介してほしいのは、**更別農業高校の存在が本当にありがたい**ということなのさ。先日「ね…」と話してくださったのは更別小学校の水野校長先生。

5月31日、更別小学校の2年生が、更別農業高校生活科学科福祉コースの2年生の生徒たちと一緒に花壇の苗の移植をしました。もちろん花の苗も、更別農業高校のビニールハウスで、生徒たちが大切に育ててくれたものです。

子どもたちは、花の苗を植えるという体験はもちろん、高校生のお兄さんお姉さんに優しく教えていただきながら、コミュニケーションの温かさ、大切さも知ることができます。学校の花壇には、花と一緒に楽しかった思い出も残り、大切にしよう、きれいにしようという心が育ちます。

これこそが学校に**応援団**が入っていただくことの**意義**です。子どもたちにとっては先生との学習だけでは得られない貴重な経験となります。



こみ・すくの本題からはちょっとそれますが、実は、教育委員会関係だけでも、各小中学校の花壇はもちろん、改善センター、トレーニングセンター、村民プールの花壇の苗や、末広学級で学級生が高校生と一緒に移植した運動公園の花壇の苗も、すべて更別農業高校で育てていただいたものです。

担当の河野先生にうかがうと、村の「花いっぱい運動」に協力し、公共施設や行政区など村内 40 か所ほどの依頼を受けて、合わせて 2 万ポット余りの花の苗を提供いただいているそうです。すごい数です。

さらに、5 月には、農高で育てた**野菜の苗**の販売会があり、**4000 ポット**の苗が提供されたということでした。

すももなどの地場産品を使った商品開発や、生徒によるイベントでの販売も含め、更別農業高校は、**小中学校の応援団**というばかりでなく、**村の応援団**として欠かせない存在となっています。

中学校では 交通安全教室



6月10日、更別中央中学校では、1年生を対象に**交通安全教室**が開催され、**更別駐在所の星所長さん**が講話をしてくださいました。



自転車の安全な乗り方「**防衛運転**」として「①日中でもライトをつける、②前かごに重い荷物を載せない、③スピードは控えめに、④見通しの悪い交差点では減速して安全確認、の4つが大切です」と話されました。過去に、小学5年生が起こした自転車による対歩行者事故の裁判で**9500万円**の賠償命令が出たという話に、生徒たちは一様に驚いた表情でした。